



4 国際的な文化の開花

古代の日本では、どのような文化が栄えたのでしょうか。

● 阿南神楽のように、唐にわたって高僧となり、ついに帰国できなかった人もいました。



◎ 鑑真(688~763) 鑑真は、日本にわたろうとしてなんども遭難し、盲目になりましたが、遣唐使にもなわれて来日し、正しい仏教の教えを伝えました。(高さ90.3cm 奈良県 唐招提寺蔵)

日本最初の仏教文化

6世紀の半ばに、**仏像や経典が百済から**朝廷におくられ、**仏教が伝えられました**。それまで自然神を信じ、素朴な死後の世界を思いがっていた人々は、体系的で柱的な仏教の教えに圧倒されました。**聖徳太子や蘇我氏は**、仏教を広めようとしたので、都のあった飛鳥地方(奈良盆地南部)を中心に、**仏教をもとにした文化が栄えました**。これを**飛鳥文化**といい、**法隆寺の建築**や、そのなかにある**四天王尊像**などの**仏像**がその代表です。それらは、おもに朝鮮半島からの**渡来人の子孫**によってつくられましたが、南北朝時代の中国や、さらに遠くインドや西アジアなどの文化の影響も受けています。

天智文化 天智時代になると、朝廷は、唐の制度や文化を取り入れようと、**遣唐使をたびたび中国に送ったので**、**仏教と唐の文化の影響を強く受けた文化が栄えました**。この文化は、**聖武天皇の天平**年間に最も栄えたので、**天平文化**とよばれています。

天皇と光明皇后は、仏教の力にたよって国家を守ろうと、国ごとに**国分寺と国分尼寺**を、都には**東大寺**を建て、金銅



◎ 新羅の弥勒菩薩像(左上:高さ93.5cm 韓国国立中央博物館蔵)と広隆寺の弥勒菩薩像(右上:高さ137.5cm 京都府)
◎ トルファン(左)の樹下美人図(MOA美術館蔵)と日本で作られた鳥毛立女屏風(右:正倉院宝物)



◎ 正倉院 遣唐使が持ち帰り、正倉院宝庫に残されている道具や楽器のなかには、シルクロードを通じて西アジアやインドから伝わったものもあります。(奈良県)

の**大仏**をつくらせました。また、**行基**のように民間で布教し、民衆とともに橋や用水路をつくる僧もあらわれました。

歴史書と万葉集 国際的な文化の交流がさかになると、いっぽうで、日本の国家のおこりや、天皇が国を治めるいわれを確かめようとする動きが起こりました。**神話や伝承・記録**などをもとにまとめた**古事記**と**日本書紀**。また地方の国ごとに、自然、産物、伝説などを記した**風土記**がつくられました。

また、**和歌**もさかになり、奈良時代の末にまとめられた**万葉集**には、天皇や貴族だけでなく、防人や農民の歌もおさめられています。



◎ 5本の弦をつけた琵琶(らくだに) 乗って琵琶をひく人が、貝細工で表現されています。(長さ108.1cm 正倉院宝物)



◎ ベルシャ風の漆器の水さし(高さ41.3cm 正倉院宝物)